

1 第122号

日経平均株価

2万0617円86銭

▼974円13銭(前日比)

TOPIX

1664.94

▼62.45(前日比)

2018

3/26

月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp

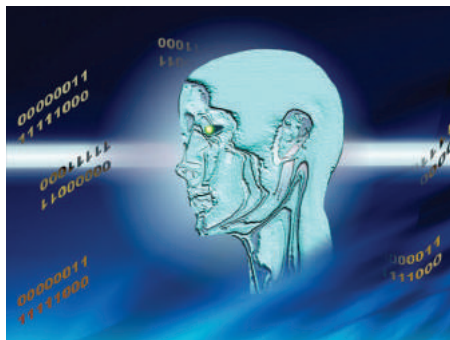


# 急速に進化する人工知能

## 4月4日から日本最大AI専門展開催へ

### 様々な分野に活用広がる

この数年、AI（人工知能）が自動運転やロボット、フ  
インテックなど様々な分野で活用されている。そのよう  
なかで4月4日からは日本最大となる人工知能の専門展  
「第2回AI・人工知能EXPO」が東京ビッグサイト  
で開催される。AIで産業構造が大きく変わると見られる  
なかで、IT系を中心に様々な業界の企業が最先端の技術や  
サービスなどを公開することから、株式市場でもAIが改  
めて大きなテーマとしてクローズアップされる可能性が  
高そうだ。



1950年代にジ  
ョン・マッカーシ氏  
が、AIに関する最  
初の会議で「人工知  
能」という用語を作  
り出し以降、AIの  
研究が急速に進み、  
2015年10月にG  
oogleの子会社  
DeepMindが  
作成した「Alpha

Go」が人間のプ  
ロ囲碁棋士に勝利し  
て以降は、人間を脅  
かす存在して知名度  
が高まり、現在では  
家電など様々な分野  
でAIが活用されて  
いる。

今回の展示会では  
NTT(9432)  
グループが開発した  
AI関連技術  
を公表す  
る。このほ  
かではA  
I(39)  
06)が  
AI・デ  
ータ  
AIプラ  
イニング  
のコンサ  
グ・導入

#### 人工知能はどこまで進化する？

AI関連技術  
「corev  
o」につい  
て、40年  
以上積み  
重ねてき  
た研究  
開発の成  
果から生  
まれた  
商材や、  
現在の  
社会の様  
々な活  
用されて  
いるAI  
関連商  
品を

このほ  
かではA  
I(39)  
06)が  
AI・デ  
ータ  
AIプラ  
イニング  
のコンサ  
グ・導入

日経平均日足チャート



トータル支援サービ  
ス、武蔵精密工業(7  
220)がディーブ  
ラーニングを活用し  
たデファレンシャル  
ギヤの打痕検出シス  
テム、インテリジェ  
ント ウェイブ(4  
847)が、話し言  
葉の質問意図を理解  
し、適切に回答を探  
し出す「OpAI(オ  
ーピーエーアイ)  
」を出展する。ネッ  
トワンシステムズ  
(7518)のIC  
Tインフラの異常検  
知ソリューションな  
どAI活用の技術も  
注目されそうだ。

# アステラスが急伸

## 前立腺がん療薬へ期待高まる

週明け19日、アステラス製薬(4503)が急伸。16日、経口アンドロゲン受容体阻害薬エンザルタミド(一般名XTANDIR)について、欧州医薬品庁から追加承認に関する医薬品承認事項変更申請受領通知を受けたことが発表された。今回の追加承認に関する申請が承認されると、エンザルタミドの適応症は第Ⅲ相PROSPER試験のデータに基づき、非転移性去勢抵抗性前立腺がんを含む全ての去勢抵抗性前立腺がん患者に拡大することに

# 今週の動意銘柄

なり、大型新薬への期待から買いを集めた。

## FCMは上方修正

19日、FCM(5758)がストップ高。同社は16日の取引終了後、18年3月期の単体業績予想を売上高で22.8億円から23.1億円(前期比2.2%増)へ、営業

業利益で4億9000万円から6億3000万円(同2.2倍)へ、純利益を3億1500万円から4億5000万円(同2.3倍)へ上方修正したことが好感された。電気機能線材事業と電子機能材事業の両セグメントともに、想定を上回る推移となっている。

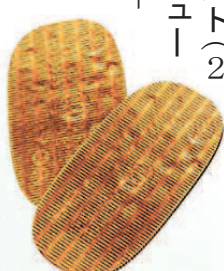
## 正直いいさんの株で大判小判

23日の東京市場は急反落、米中貿易摩擦への警戒感から米国株が急落し、104円台まで進んだ円高も重しになりました。トランプ米大統領の対中関税は予想されていたとはいえ、正式調印で貿易競争が激化しました。後、水面下貿易競争へ思いがたか。人喚問が27日国内政治には入れづらく、2月の暴落時と叩かれた水準でくると日銀ETF資家も買いに動いて悲観する必要はないと思います。注目柄のヤクルト(267)、スマートバリュー(9417)は底堅く、中期視野に立てば週明けに買い場が来ると思えます。

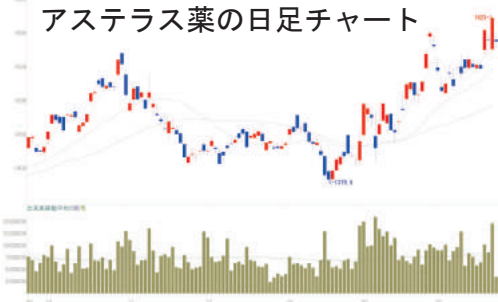
花咲翁

## ここから過度の悲観不必要

たとはいえ、正式調印への懸念が一気に拡が関税に対する交渉は今で進むことから大きな発展する可能性は低いと佐川前国税庁長官の証日に予定されるなど、スクも抱え、押し目買らくなっています。異なり、ある程度売りすし、ここまで下げてFに加え、国内機関投資可能性があり、過度



アステラス薬の日足チャート



## 三機サービス需給懸念

19日、三機サービス(6044)が大幅下落。16日取引終了後、公募増資と売却し、出資を懸念したことで需給悪化を懸念する売りが膨らんだ。20万株の公募と67万株の売却出し、上限13万株のオーバーハングを解消し、アロッドメントによる売却を実施。手取概算3億9600万円は設備投資と

## 公開価格50%上回る

共和コーポの初値レシオン(6570)が東証2部に新規上場、公開価格1590円を50.3%上回る2511円で初値を付けた。同社はアミューズメント施設運営及びアミューズメント機器販売を手掛ける。

## 仙波糖化S高で新値

19日、仙波糖化工業(2916)が続騰、ストップ高まで買われ、昨年来高値を更新した。16日取引終了後、18年3月期の期末一括配当を10円から12円(前期10円)に引き上げたことが好感された。株主への利益還元を最重要政策と位置付け、安定配当を維持することを基本方針としており、堅調な業績や今後の経営環境を勘案して増配に踏み切る。

## 大紀ア業績と配当引上げ

20日、大紀アルミニウム工業所(5702)が急伸。18年3月期の連結業績予想の修正を発表、売上高を177.7億円から184.2億円(前期比22.1%増)へ、営業利益を62億

6000万円から69億円(同45.9%増)へ上方修正、期末配当を8円から10円(前年同期8円)へ引き上げた。製品と原料の価格差が計画数値より拡大したことが、商品の販売数量が増加したことが寄与している。

企業観察 力の源HD(3561)

東証1部へ指定変更



力の源ホールディングス(3561)傘下の力の源カンパニーが運営する「一風堂」が「一風堂」錦小路店に続き、京都府2店舗目となる「京都ポルタ店」を3月20日にグランドオープン、19日以内に観・試食会が開催された。今回の新店は、食をテーマに全面リニューアルした。東エリアにオーブン・定番メニューに加え、地元根

「京都ポルタ店」含め新店効果に期待

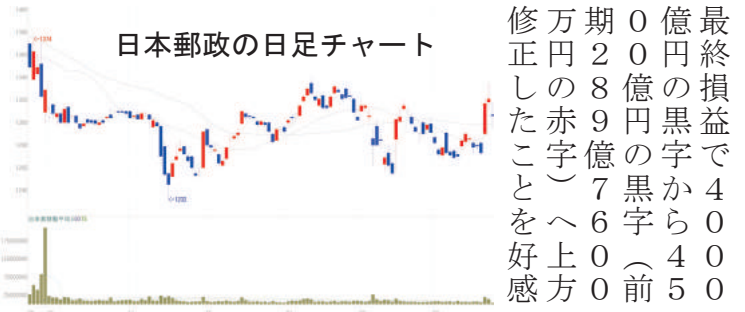
付いた店舗を目指した「ココだけIPPUDO」・「イマだけIPPUDO」の取り組みの一環として、その土地でしか味わうことのできない、筍や京野菜の代名詞として知られる加茂茄子に九条葱や壬生菜などの厳選素材をふんだんに使用した、ご当地メニュー「京野菜担々麺」を4月1日までの期間限定で販売している。同社は3月22日付で東証マザーズ市場から1部へ指定変更となった。店舗は第3四半期末で期初より19店舗増の217店舗で、今回の「京都ポルタ店」を含めて新店による収益拡大が期待される。

日本郵政が反発

取扱数量増で今3月期上方修正

20日、日本郵政(6178)が反発。同社は19日の取引終了後、3月期の業績予想を12兆4千7百億円で、前年同期比4.7%減(経常利益で7800億円から8900億円へ、同11.9%増)へ、最終損益で4000億円の黒字から4500億円の黒字へ上方修正したことを好感

日本郵政の日足チャート



初値は公開価格割れ

信和の初値

20日、信和(3447)が東証2部市場に新規上場した。公開価格1150円を44円下回る1106円で初値が生まれた。同社は主に仮設資材、物流機器を中心とした金属製品の製造販売を行う。

魚力は値上がり率トップ

20日、魚力(7596)が急騰、東証1部値上がり率トップに立ち、昨年来高値を更新した。同社は19日の取引終了後、株主優待制度を再開すると発表した。9月末現在、100株以上保有の株主に対して保有株式数や保有年数に応じて海産物を贈呈する。併せて東京都八王

サイバーに連想売り

20日、サイバーエージェント(475)の子市の旧本社跡地の売却益3億4100万円を19年3月期第2四半期に特別利益として計上すると発表された。

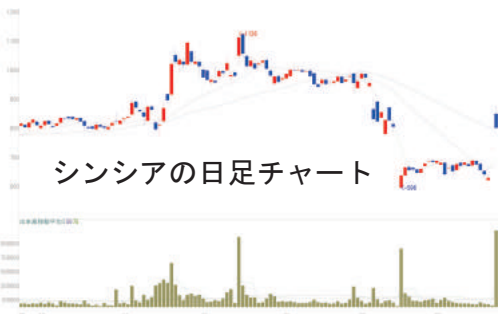
シンワイズS高

22日、シンワイズS(2437)がストップ高。レジストアーレジストアーの株主であるアートイットと株式譲渡契約を結び、アートイットが保有するレジストアー株式の一部を取得すると発表された。レジストアートはコンテンツポータルサイトを運営するアートイットとフイ

石油関連軒並み買われる

22日、石油資源開発(1662)や国際石油開発帝石(1605)、コスモエネルギー(5021)など石油関連が軒並み買われた。WTI原油先物価格が1バレル65ドル台まで上昇したことが支援材料となった。

1)が値を崩した。米大統領選でトランプ陣営が契約したデンタ会社が、フェイスタックの利用者5000万人以上の個人情報を受付けて、その報道を受けて、ソニーシャルメディア関連が値を崩したことから、東京市場ではアメーバを手掛ける同社株が連想売り浴びた。



# シンシアはストップ高

総発行株の10%超の自社株買い

22日、シンシア(782)が急反発、ストップ高まで買われた。20日取引終了後、発行済株式総数(自己株式を除く)の10・2%にあたる70万株、金額にして4億5000万円を上限にした自社取得枠を設定すると発表

したことを受け、株主還元への前向きな姿勢と需給改善、株式価値の向上による株価浮揚効果を期待した買いが殺到した。3月22日から12月20

## インプレス上振れで増配

22日、インプレスホールディングス(9479)が急反発。18年3月期の連結業績予想を上方修正したことが好感された。売上高を115億円

## アミューズ下方修正

22日、アミューズ(4301)が急落。18年3月期の連結業績予想を営業収入で450億円から477億円(前期比5・7%減)へ、営業利益を44億円から28億8000万円(同46・3%減)へ修正。利益の下方修正を嫌気した。営業収入は、大型コンサートの動員数増加や、来期に予定していた大型コ

から118億円(前期比4・6%増)、最終利益を2億円から3億5000万円(前期900万円)へ増額。書籍販売とメディア広告収入が堅調で、有価証券売却益を計上すること

も最終利益を押し上げる。業績上振れに伴い、期末一括配当を50銭(前期60銭)に引き上げた。

## 公開価格を24%上回る

22日、SOU(9270)が東証マザーズ市場へ新規上場、公開価格3300円を24・2%上回る4100円で初値が生まれた。同社はブランド・貴金属・骨董品などの買取、販売を行う。

## 転ばぬ先のテクニカル

### 三尊底を否定

先週は貿易摩擦拡大懸念が広がりNY株式が急落しました。NYダウはまだ2月安値を切っていないために、恐らく今週は二段下げに向うものと思われれます。そうなると、底割れした円高進行もあり、日経平均の押し下げ圧力が高まることが考えられます。日経平均は年初来安値を更新してきたことで三尊底が否定されました。

値幅を伴った下落となっておりますので、短時間での底打ちが期待されますが、一目均衡表・値幅論から1月高値を起点としたN計算値が1万9323円、V計算値が1万9398円、E計算値が1万7771円です。また2月戻り高値を起点としたN計算値が2万0406円、V計算値が1万9903円、E計算値が1万9372円であり、19300円台は岩盤ではないかと思われれます。売買代金を見ながらの買い場探しということでしょう。

日々勇太郎

## ITMクラウドで合併

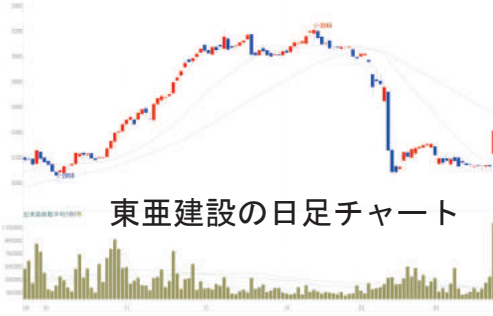
週末23日、アイティメディア(2148)が急伸、ストップ高まで買われた。ソフトバンク、コマース&サービスと、クラウド製品をはじめとするIT製品の選択・導入に役立つ製品レビューメディア「アイティクラウド」を設立すると発表したことを好感した買いを集めた。新会社は4月2日付で設立

の予定で、ソフトバンクC&Sが60%、同社は40%を出資。ユーザによる製品評価情報を集約し、適切な分析を加えることでIT製品の選択・導入のための有用な情報源を目指すとしており、新事業の拡大と早期収益貢献が期待された。

## 建機は貿易摩擦警戒

23日、コマツ(6301)が6%超、

日立建機(6305)は7%超の下げになるなど建機株が大幅安。トランプ米政権が中国による知的財産権の侵害を理由に同国製品に対して500億ドル(約5兆2000億円)相当の関税を課すと発表したことを受け、米中貿易摩擦激化懸念から、中国向け売り上げ比率が高い建機株に売りが膨らんだ。前日の米国株市場でもキャタピラーが急落するなど、建機株が売られた。



修正、期末一括配当  
00万円の赤字)へ  
黒字(前期74億38  
17億5000万円の  
を8億円の黒字から  
%減)へ、最終損益  
万円(前期比54.0  
00億28億円

# 東亜建設が急伸

## 18年3月期利益予想を増額

東亜建設 23日、18年3月期業績予想を25億円から28億円に増額した。工事の採算性が改善している。

今週の動意銘柄

東亜建設の急伸は、18年3月期業績予想を25億円から28億円に増額したことが寄与している。

石井表記22%営業減益  
23日、石井表記(6336)が一時ストップ安まで売られた。19年1月期の連結営業利益は9億9000万円(前期比22.1%減)と大幅減益を予想したことから、失望売りが膨らんだ。インクジェットコスト上昇が利益を圧迫する。

テクノプロHD需給懸念  
23日、テクノプロホールディングス(6028)が急反落。海外募集による20万株の新株を発行すると発表したことで、株式価値の希薄化と需給悪化を懸念した売りがかさんだ。新株の規模は発行済み株式数の約5.8%におよぶ。発行価格は22日終値685円を6.0%引き下した。19億9千万円は借入金

返済と人材タレントマネジメントシステムへの投資に充てる。

公開価格6%下回る  
キュービネットの初値  
23日、キュービネットホールディングス(6571)が東

証一部に新規上場、公開価格2250円を6.0%下回る215円で初値が生まれた。ヘアカット専門店チェーン「QB HOUSE」などを運営するキュービネット株式会社をはじめとしたグループ会社の経営管理全般を行う持株会社。

### 株は底値買で大きく取るべし・(門外不出)大伸流底値先回り買成功法必見

◎暴落底値買に暴落の心配なし・下記銘柄に天与の買場接近す(3月19日)

|         |                                     |
|---------|-------------------------------------|
| 楽天      | 当面1200~1300円前後で一服後次は1400~1500円目標押目買 |
| 大日本住友薬  | 当面1800~1900円前後で一服後次は2000~2200円目標押目買 |
| コニカミノルタ | 当面1100~1200円前後で一服後次は1500~1600円目標押目買 |
| 日本ハム    | 当面2500~2600円前後で一服後次は3000~3300円目標押目買 |
| 三菱地所    | 当面2200~2300円前後で一服後次は2400~2600円目標押目買 |
| 富士通     | 当面750~800円前後で一服後次は880~900円目標押目買     |
| 新日鉄住金   | 当面2900~3000円前後で一服後次は3300~3500円目標押目買 |

迷える投資家の杖味方・買値及び売値予想ズバリ教えます お試しください

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり) (返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年) 金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員  
**大伸経済研究社** 会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込) (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照)  
 電話058-243-5690(午前8:30~11:00) 将来の運用成果を約束するものではありませんが(銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)  
 〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2 [インターネットでの資料請求はこちらをクリック!](#)  
 公表銘柄は一例であり全てではありません 目標値は当社独自の分析による予想値です  
 有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

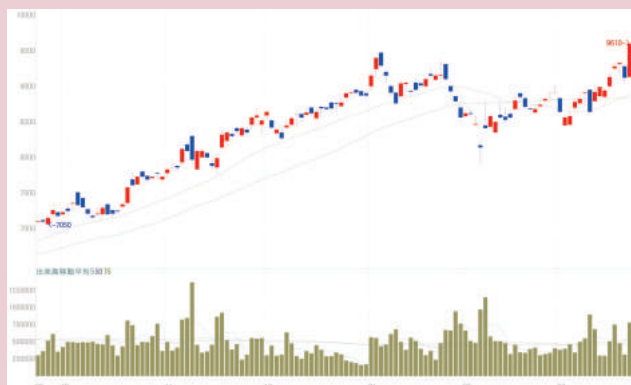
# チャート から読む 騰落銘柄

## 松屋フーズ (9887)



2月16日に3650円の昨年来安値更新後に3900円台まで上昇し、揉み合い基調。製品値上げによる来期からの利益率改善が期待され、昨年12月27日の高値4245円回復に期待。

## シスメックス (6869)



全般地合い悪化で調整を余儀なくされたが、26週線にタッチしたところから急速に切り返す。日足陽転のあと一呼吸入れ、5日移動平均を下値支持線に上昇再開。最高値を奪回し青空相場を一段高へ。

## TPR (6463)



3月14日に3150円まで戻したものの、その後売り直され22日に2779円の昨年来安値を更新。子会社の収益改善遅れが懸念材料で、2000円割れまでフシはない。

## ヤマシナ (5955)



戻りを試すも上値は重く、日足が再び陰転。5日移動平均に上値を抑えられ下落が続き、13週移動平均を割り込む。130円割れ水準を維持できなければ、26週線が走る105円近辺までの調整も。

## 潮流

## 安倍内閣崩壊はない

## 金融緩和継続の日本株売りは限界

marKet / bAnk



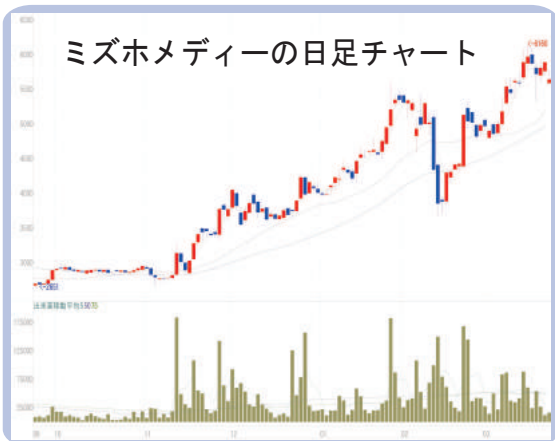
った弱気な投資家が多く、軟調な展開が続いている。

東証や新興市場の出来高は今年最低水準で市場参加者も減っている。ただ、安倍総理の米国政治や国内経済への貢献度からすれば安倍内閣の崩壊は無いだろう。5月に米トランプ大統領は北朝鮮との結着をつけるようだが、米国や日本にも明るいニュースが訪れそうだ。安倍政権や米トランプ政権が安定度を強めれば予想外の株高となる。

日銀の雨宮正佳理事と早大の若田部昌澄教授が新たな日銀副総裁に就き、続投する黒田東彦日銀総裁の2期目が動き出す。本田悦朗駐スイス大使は安倍総理に「デフレからの完全脱却には大規模な財政出動と強力な金融緩和が不可欠です。若田部さんは完全に理解しています」と力説したようだ。その後、政府の副総裁案に若田部氏が載った。政府と日銀は金融緩和政策をデフレ脱却が軌道に乗るまで続けるだろう。金融緩和を継続する日本株を売り続けることに限界を感じる。

さらに、日本と米国の景気は現状絶好調な状況の中

ミズホメディーの日足チャート



にある。3月13日に経済協力開発機構（OECD）が発表した世界経済

日本の株式市場は森友問題が安倍政権を揺るがしかねない局面に進展するのではないかと

いう。中間評価では、日本の2018年の実質経済成長率は2017年11月の前回評価から0.3%ポイント引き上げ、前年比1.5%になると予測した。ただ、賃金などが伸び悩めば個人消費の伸び

は限定的とみている。貿易、雇用環境などが好調で、世界経済の伸びが大きいので日本経済の伸びは4%台以上になるのではないかとみているようだ。

米国市場はトランプ政権の政策の先行き不透明感や貿易摩擦への警戒感から上値を抑える展開が続いているが、米国経済の疲弊からきたものではない。投資家はメンタル面から実態経済へと移り変わって行く時が来るはずだ。今年外国人の売りが目立っている。現物と先物（日経225、TOPIX）の年初来からの売り越し額は6.3兆円になった。2月だけで3.8兆円売り越しだ。2017年は通年で2.1兆円の売り越しだったことを考えれば、その大きさが分かる。近年、日本でも投機的なヘッジファンド業者の参加者が多くなっている。世界に分散された投機的なヘッジファンドがいなくなれば株式市場は様変わりするのだ…。

潮流銘柄はミズホメディ（4595）、シグマクス（6088）、イノテック（9880）。



岡山 憲史氏 株式会社マーケットバンク 代表取締役のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテント「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。 <http://marketbank.jp>

メンタルから実体経済へ

# 高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

## 彼岸底で次第に戻す

### 株式市場新聞の名物コーナーが復活!



**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

21日の祝日明けの東京市場は予想通り、反発に転じました。森友学園問題も証人喚問の日程が決まり、国会の正常化が予想

のできるようになったこと、を好感して戻したとみています。2月以降、米国金利上昇、3月の鉄鋼など米国輸入関税導入による急落、そして国内の森友学園問題による政策の遅れを懸念した下落と相次いで日経平均を大きく下落させましたが、ようやく、その出口が見え始めたといえます。彼岸底形成を、次第に戻すので、

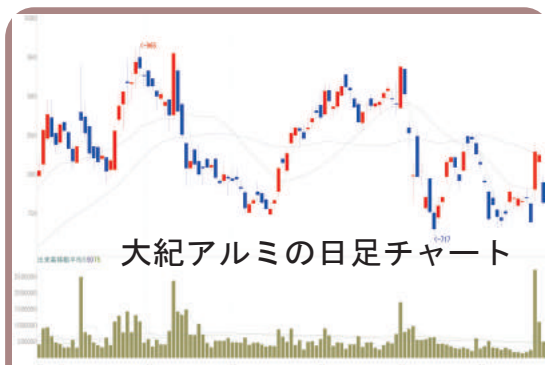
## 先高暗示する大紀アルミ

開へと向かうものとみられます。とりあえず日経平均は2月27日の2万2502円突破が目標となりそうです。これを抜ければ、戻り基調が本物になるとみています。

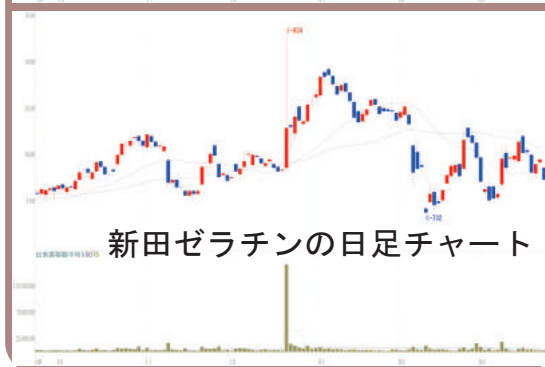
当欄一貫推奨銘柄の**大紀アルミ工業所(5702)**が待望の増額修正に進みました。これを受けて20日に急伸となり、その後の21日には一服場面を見せましたが、引けでは寄り付き値をクリアしてほぼ20日の終値までの水準まで戻して終えました。いわば、「並び赤」形成となったことになりました。先高を暗示したことになりました。実力的には1000円が当たり前ですので、それに向けて上値を追っていくことでしょう。

**新田ゼラチン(4977)**は相変わらずポーカーフェイスです。何事も無いような静かな動きが続いていますが、これこそ嵐の前の静けさというべきでしょう。

4月に入ればエンジンが始動するものとみています。協和発酵キリン(4151)が上値を追う態勢を整えつつあり、見逃せなくなっていくようです。アイフル(8515)も350円を固めて次第に水準を上げていくとみています。主力系では前回紹介した**古河電気工業(5801)**、**住友電気工業(5802)**、**フジクラ(5803)**の大手電線3社が水準を上げていき、**東芝(6502)**が月末



大紀アルミの日足チャート



新田ゼラチンの日足チャート

高野恭壽公式ホームページ

高野恭壽の株式情報(これでどや!!)

<http://www.kabun-takano.com/>

毎日情報を配信中!



今週の

# 活躍期待銘柄



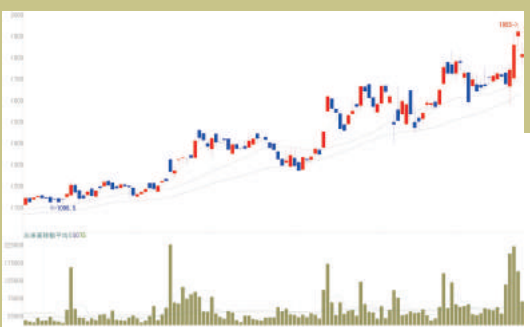
アルテック (9972)

## ICタグ関連製品拡大に期待

無人レジの本格普及で恩恵  
増も先行き期待  
連製品への需要  
か、ICタグ関  
本腰を入れるな  
人レジの普及に  
ニチェーンが無  
る。大手コンビ  
効果が期待され  
タを含めて拡販  
国内販売を開始  
搬送ロボットの  
し、自律走行型  
と販売代理店契約を締結

アルテック(9972)の株価は3月上旬に310円台まで突っ込んだ後に出来高を交え上昇基調に転換、400円を抜けたことで1月12日に付けた高値470円奪回に期待が高まりそうだ。  
今18年11月期は通期連結営業利益で5億円(前期比21.2%減)と前期に73%超の大幅増益を達成した反動や展示会などの経費増で減益を見込んでいるが、ICカード・タグ関連機械の好調が続いており、中期的な業績拡大基調に変化はない。自動走行車両メーカルのClearpa  
th Robotics

### 無人レジの本格普及で恩恵



スマートバリュー (9417)

## クラウドソリューションで変貌

騰勢に弾みがつ  
く局面。(さ)  
58円)を射程  
を考慮して23  
0円(株式分割  
た最高値943  
15年6月に付  
水準を切り上げ  
株価は着実に  
される。  
益拡大が有望視  
来期は一段の収  
ドも軌道に乗り、  
機関向け地域情報クラウド

スマートバリュー(9417)は業容変貌期を迎えた。クラウドソリューションへの取り組みがいよいよ結実。カーナビゲーションやドライブレコーダーなどカーソリューションに加え、モバイルIoTサービスを受託開発案件が急ピッチで伸び、18年6月期は期中上方修正で、単独営業利益3億6800万円(前期比34.1%増)と大幅増益を見込む。しかも、データセンター事業戦略見直しによる効率化効果で、期を追って増益ピッチが上がっており、一段の上振れが期待される。自治体や公共機関向け地域情報クラウド

### モビリティIoT急ピッチの伸び

# 本紙関係者 座談会



2月の暴落を受けて先物デイトレーダーを含めて3月末で多くの自己売買のプロが市場から去るけど、これによ

り先物に限っては外資によるAIによる自動売買がほぼ市場を席巻することになる。今後は一般の投資家が想像できないような小さな材料でも指数が乱高下する可能性が高いから、指数構成銘柄を売買される方は注意してほしい。

3月決算の権利配当落ちが終わればよいよ新年度に突入する個別ではどうか。

3月決算の権利配当落ちが終わればよいよ新年度に突入する個別ではどうか。T 新年度はメガバンクが推進するQRコード決済が具体化してきそうだから、再度注目してみたいね。店頭での支払い時に「QRコード」を読み取ると個人の銀行口座から自動的に代金が引き落とされることを想定しているが、子会社のデンソーウェーブがQRコードの開発元であるデンソー（6902）は株価が底値圏、QRコード読み取りアプリを手掛けるメディアアシーク（4824）も高値圏ながら引き続き注目される。

とにかくマーケットには材料が欠乏している。新鮮な材料となるとおさらだ。M その点で、京都大学とシスメックス（6869）や島津製作所（7701）など7社が進めるワンストップバイオリソース事業の動向をマークして置くべきだろう。血液や病気の組織の一部などを活用して、早期段階から効果的な研究開発を進める国内初の産官学連携による取り組みで、今後、続々と新しい研究成果が上がってくると思うな。

バイオ関連なら新興銘柄にも材料が相次いでいる。セルシード（7776）などは安値から3倍に上昇したけど、最高値からはまだ3分の1の水準だ。いずれも13年に高値を付けてから大きく売り叩かれ相場は枯れ切っており、いったん動き出せば意外な値幅が取れると思うよ。

ほかにはどう？

T SHIFU（3697）が要注目だ。27日にマザーズ市場へ上場するRPAホールディングス（6752）に出資しており、含み益の拡大が期待できるからね。

東京市場は2月上旬の暴落からようやく落ち着きを取り戻しつつある感じだね。昨年の連騰記録を演出した相場環境から状況は一変したけど、先ずはM君からそんな現状を分析してもらおう。

M 様々な要因があるものの、トランプ大統領就任後、調整らしい調整がなかったことから、今回の大幅下落は起こるべくして起こった感じだね。

S 僕もニューヨーク市場の動きは寝ないで見ていることが最近が多かったけど、日本時間で3時とか4時あたりから動きが急変することが多かった。その時々で事情は異なるけど、AIによるアルゴ売買が影響しているなと思ったよ。これはチャート分析でも判断できない部分だけど、業績の良い銘柄を割安な位置で仕込むという投資の基

本を守っていききたいと思う。

好業績株を割安水準で

大暴落から

落着き取戻す

好業績株を割安水準で

大暴落から

落着き取戻す

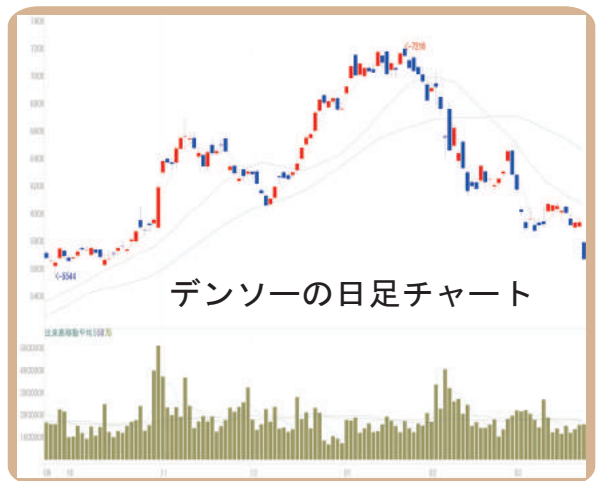
3月決算の権利配当落ちが終わればよいよ新年度に突入する個別ではどうか。

デensoーの日足チャート

デensoーの日足チャート

## 好業績株を割安水準で

# 大暴落から 落着き取戻す



デensoーの日足チャート

## メガバンクQRコード決済具体化へ

# 星野三太郎の 株街往来

## ～モラルの向上～

今に

始まった事ではないが、最近ではYouTubeなど動画投稿サイトで無節操な動画の公開が相次いでいる。

直近では回転寿司チェーンの回転レーンに外国人YouTubeがポータブルカメラ「GoPro」を店の許可なく設置し、店内の様子を撮影した動画を投稿したこと

が問題となっていた。それ以前は米国の大物YouTubeが青木ヶ原樹海で自殺遺体を撮影していた。視聴者数を増やして広告収入を稼ぐためには手段を選ばない姿勢は、非常識という言葉以前に人間性を疑うときがある。

一方、TV局も面白いバラエティー番組が増えて、昭和の時代に人気だった家族や人情ドラマなどが皆無になった。放送とインターネット通信との垣根をなくすために、放送法4条の撤廃などを柱とする放送制度改革を政府が検討していることも報じられていたが、規制緩和以前にモラルの向上が様々な分野で求められている。もちろん、誰もが知らない真実を伝えることも重要。誰もが気軽に動画を公開できる時代になって、マナーのある行動ができるか。改めて様々な場面で常識が問われていると思う。



## New product

**グルメ杵屋** 「春のおすすめ」期間限定で 「杵屋」、「井井亭」、「麦まる」など発売



グルメ杵屋（9850）は「春のおすすめ」として「杵屋」、「井井亭」、「麦まる」、「おらが蕎麦」、「そじ坊」などの店舗で期間限定商品の販売を開始した。

「杵屋」では春のカレーうどん、茎わかめと桜海老のぶっかけうどん定食、釜揚げしらす丼定食を。「井井亭」では春の上天丼、釜揚げしらす卵丼。「麦まる」では春採りキャベツと桜海老のそばうどん、あさりの卵とじあんかけうどんとおにぎりセット。「そじ坊」、「そば野」、「結月庵」の3店では梅しらす丼定食、うなとろご飯定食、はまぐりそば定食、わさび味噌せいろそば定食。「おらが蕎麦」では冷やし筒天おろしそば、漬けまぐろ丼定食を販売中。

## 狭小空間点検ロボット

大和ハウス工業

「モーグル エヴォ」を発売



mooglevo

大和ハウス工業（1925）は、狭小空間点検ロボット「mooglevo（モーグル エヴォ）」の販売を開始した。同社は、2008年10月に、ロボット事業推進室を設立した。従来の「mooglevo」の機能に加え、インフラ点検に有効な新機能を搭載。点検カメラの解像度は従来の約4倍に高めており、より微細なクラックを認識できるとともに、クラック幅に応じて自動で色分け表示する機能を追加。橋梁や共同溝などでの効率的なインフラ点検をサポートする。

大和ハウス工業（1925）は、狭小空間点検ロボット「mooglevo（モーグル エヴォ）」の販売を開始した。同社は、2008年10月に、ロボット事業推進室を設立した。従来の「mooglevo」の機能に加え、インフラ点検に有効な新機能を搭載。点検カメラの解像度は従来の約4倍に高めており、より微細なクラックを認識できるとともに、クラック幅に応じて自動で色分け表示する機能を追加。橋梁や共同溝などでの効率的なインフラ点検をサポートする。

## 企業レター

立ち上げ、12年10月には、戸建住宅の床下空間や溝などの点検ができるよう、住宅メーカー・工務店・リフォーム会社向けに狭小空間点検ロボット「mooglevo」を発売。これまで約300台を供給している。

日経225先物日足チャート



週末の下げに  
株安」のスパイラ  
ていており「円高  
の105円を割っ  
また、為替も節目  
が悪くなってきた。  
チャートの形的に  
たことよって、  
を明確に割ってき  
万1387円処)  
日移動平均線(2  
されていた200  
り込み、年初来安  
値を更新、2番底  
の展開となった。  
下値として意識  
され、2000  
万1387円処)  
を明確に割ってき  
たことよって、  
チャートの形的に  
が悪くなってきた。  
また、為替も節目  
の105円を割っ  
ていており「円高  
株安」のスパイラ  
週末の下げによ

今週のスケジュール

- ・ 23日 米2月新築住宅販売件数 (23:00)
- ・ 27日 2月企業向けサービス価格指数 (8:50)  
40年国際入札  
米3月CB消費者信頼感指数 (23:00)
- ・ 28日 米10-12月期GDP確報値 (21:30)
- ・ 29日 2月商業動態統計 (8:50)  
2年国際入札
- ・ 30日 2月失業率・有効求人倍率 (8:30)  
2月鉱工業生産 (8:50)

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。

敏腕先物ディーラー  
ハチロクの裏話

底値を探る一週間

前半安の後半高の展開か？

やはりトランプ氏に振り回される相場である。側近を次々解任したかと思えば、今度は中国と貿易戦争をおこそうとしている。まさに「裸の大様」状態になってきており、市場は米国発の世界経済混乱を危惧し始めている。

米国が変動をきたすといつも真つ先に調整局面になるのが日本株である。また、国内においても政権を揺るがしかねない「森友学園問題」があり、積極的な買い手不在の状況は続いている。そんな中、23日の金曜日には3月5日の安値(2万937円)を割り、先物では節目の2万500円も割り込み、年初来安値を更新、2番底の展開となった。

一方、下値は節目の2万円が意識されよう。2016年9月に2万1222円から1万9933円の「窓」をあけており、この窓埋めの動きとなる可能性は高い。戻りはやはり外国人投資家の売りが止まらないと期待できないようである。

日々の動きでチャート上、「コマ」の形を作るケースが見られるが「下げための上げ」の場合が多く、注意が必要である。

今週は3月期末の週になるが、前半安の後半高の展開を予想する。(ハチロク)

編集後記

週末23日の東京市場は大荒れとなった。米中貿易摩擦への警戒感から急落したNY市場の余波を受け全面安商況、買い手不在のなか後場からは欧州系投機筋からの売り仕掛けも入り、日経平均は1000円超に下げ幅を広げ、974円安とほぼ安値引け、東証1部の値下がり銘柄数は2042と過去最多を記録している。外部要因だけでなく国内にも政治問題を抱え、週明けも厳しい状況が続きそうだが、結局、企業業績も株価も日米金利差とこれに連動する為替が鍵を握っているのだろう。